

## 大会宣言

本年八月に広島市で発生した豪雨による土砂災害では、多くの人命が失われ、甚大な被害がもたらされた。犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。また、復旧・復興工事が安全に行われ、被災地において一日も早く安全で安心した生活が送れることを強く願うところである。

我が国の労働災害は関係者の努力のもと、長期的には減少してきたが、平成二十二年から三年連続で増加した。昨年は減少したものの、今年に入り再び増加傾向に転じており、特に、これまで労働災害防止活動に積極的に取り組んできた製造業、建設業、陸上貨物運送事業などで死亡災害が大幅に増加している。さらに小売業や社会福祉施設、飲食店においても労働災害の増加傾向が大きく、極めて憂慮すべき事態にある。

その背景には、景気の緩やかな回復に伴う産業活動の活発化に加え、これまで現場を支えてきた世代の退職、就業形態の多様化などにより安全衛生のノウハウが若い世代にうまく伝承されていないことや安全衛生教育、安全パトロールなどの安全衛生活動が十分に展開されていないことなどが考えられる。

今日のこのような状況を打破するためには、経営トップの強いリーダーシップのもと、リスクアセスメントや危険予知活動などの安全衛生活動の総点検の実施、事業場の安全衛生管理体制の充実、雇入れ時教育の徹底を中心とした効果的な安全衛生教育の実施などに、労使をはじめ、関係者が一体となって取り組んでいくことが重要である。また、心身両面にわたる健康づくり、とりわけ、メンタルヘルス対策の一層の充実が求められる。

自主的労働災害防止活動の促進を謳った労働災害防止団体法の制定から五十周年という節目に開催される本大会を契機に、労働災害の増加傾向に歯止めをかけ、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという強い決意のもと、すべての関係者が一丸となって、労働災害防止対策に取り組むことを誓う。

右、宣言する。

平成二十六年十月二十二日

第七十三回全国産業安全衛生大会